

筑波大学新聞

第259号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040・6699
E-mail: shimbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

アントレプレナー交流会「起業とは何か」
インク講演会 ペルーの風本学に
柔道 福見、2年ぶり2度目V
スラムアップ スポーツの地域貢献
宿舍改修 居室料金巡り意見見出
MTGF どう生かす「筑波力」

11 11 10 9 5 2
特集 6,7
旅立つアスリート
苦難を乗り越え 夢へ旅立つ
ニニ特集 3
退職教員
第2の人生へ

新総合科目

79科目を新規開設

他組織の教員も担当へ

07年度の学群改組に伴い一新して開設される総合科目が出揃った。新総合科目は「学際的科目」と「異分野入門的科目」の2種類で構成され、144科目159単位からなる。新しく開設される科目は、全体の55パーセントにあたる79科目。開学以来の老舗科目や人気科目は名前を変えず、内容の見直しを行った。

総合科目編成室が各学一したことから、「学際的科目」が67科目となった。類・専門学群に「学際的科目」が77科目(うちキャリア支援室などの開設科目が18科目)、「異分野入門的科目」が12科目と、新総合科目の特徴の一つは、他学群・他学類の教員が、他学群・他学類の教員に「幅広い授業を行う

来るようになったことだ。医学専門学群が新しく開設する通年の学際的科目「医学と画像のインターフェイス」は、工学などを学ぶ学生に、工学技術が医学に与えた影響を伝えることを目的とする。担当教員は毎時間異なり、芸術や工学の教員など、3人に参加してもらう。オーガナイザーの大河内信弘教授(臨床医)は「幅広い授業を行う

総合科目 FD 研修会 好評価の科目が多数 履修指導の充実目指す

総合科目のあり方を考える「総合科目に関するFD研修会」が1月24日午後3時から、1D204で開かれた。学生と教職員合わせて67人が参加した。

研修会では2学期にマークシートを使って実施された総合科目の授業評価アンケートの結果が報告された。対象となったのは、2学期に開設された総合科目56科目のうち55%にあたる31科目。該当科目の受講者からの回答では肯定的なものが多数を占めた。アンケート項目は全12項目。学生の授業への意欲では約70%、授業の理解度は68%、そして総合的な満足度では77・7%が肯定的な回答だった。

受講者の多い科目で、特に学生の満足度が高かったものは、「障害と共に生きる」と「先端医療とそれを支える社会」。「一人ひとりを大切にする」が最も高く評価された。アンケート結果を受けての教員の改善が見えてこない」と話した。これに対し工藤典雄副学長(教育担当)は「総合科目ではカリキュラムと個人の教育力の2つの問題がある。各科目のオーガナイザーに結果を返却する」と答えた。

成迫、アジア最速で金



アジアの国々のアスリートが集うアジア大会が、昨年12月11-15日にカタール・ドーハ(メイン会場はハリファ国際競技場)で行われ、本学からは5人学群生4人、大学院生1人が出場した。男子400m障害では、成迫健児(写真)が48秒78のタイムで優勝し、本学選手で唯一のメダリストとなった。(写真提供:共同通信社、6・8面に関連記事)

アスベスト対策

66%で除去完了 春季休暇に工事を集中

春季休暇に工事を集中

本学の施設建物の吹きつけアスベストを除去する工事は昨年5月に開始され、今年3月末の完了を目指している。アスベスト対策工事は進行状況は1月末時点で全体の66パーセントだ。校舎の工事は教育・研究への影響が最小となるよう、主に春季休業時に工事を日程が組まれている。

アスベスト除去工事に合わせて耐震や内装を改修する第一学群E棟では、工事騒音による授業などへの対応で工事の進行が遅れている。アスベスト除去工事や

改修工事による教室の移動先となる共同利用建物が増え、1月中旬より利用が開始された。共同利用建物は、アスベスト除去工事だけでなく、今後本格化する改修工事による教室の移動先として活用するために今後も共同利用建物として利用される。

看護・医療科学類棟の西側に建設された西地区の共同利用建物は、平成19年度大学入試センター試験の会場として利用された。共同研究棟Aの西側に建設された中地区共同利用建物は、

1月22日から第一学群の授業で利用されている。トイレや放送設備は2月25日の前期入試に間に合うように設置する。歩道などの整備については1月に完成しているが、駐輪場などへの対応は全学的な自転車問題として検討を行い、それを基に設置を検討する。中地区共同利用建物で授業を受けた学生からは「工事が続いていて騒音が気になる」といった声が寄せられた。

来年度より「学生支援センター(仮称)」が設置される第一学群D棟の改修工事は、1月22日より現場着工された。現在本部棟に置かれていた学生生活部が第一学群D棟に移転される見込みだ。



剣道部の寒稽古。朝5時半から、剣道場に竹刀の音が鳴り響く (撮影・石橋知佳=社会学類)

本学OGが芥川賞受賞

15年ぶり2人目

第136回芥川賞・直木賞が1月16日に発表され、芥川賞に、本学出身の青山七恵さんの「ひとり日和(よ)」が選ばれた。

青山さんは05年に図書館情報専門学群を卒業。同年「窓の灯」で文芸賞を受賞し、22歳でデビューした。

第136回芥川賞・直木賞が1月16日に発表され、芥川賞に、本学出身の青山七恵さんの「ひとり日和(よ)」が選ばれた。青山さんは05年に図書館情報専門学群を卒業。同年「窓の灯」で文芸賞を受賞し、22歳でデビューした。

青山さんからのメッセージ 芥川賞という大きな賞をいただきましたが、私はいつもどおり出勤して、いつも食べたり寝たりしています。前よりやるべきが増えて、少し疲れてもいますが、楽しんでます。学生の皆さんも、今しかできない生活を覗き直して楽しんでください。

筑波お孔

地元栃木では、雪は年に2回ほどしか降らなかつた。夜に雪が降り、翌朝外は白く、そこは一面真っ白な世界。朝もやの中、雪を踏みしめる音が響く。凍りつくような冷たい空気、白い雪と影のコバルトブルーのコントラスト。その一瞬をカメラにおさめた。私が写真を撮り始めたのは小学生の頃で、写真好きの父の影響だ。自分が見つけた、桜の下で支えあって歩く老夫婦の温かいシーンや、きれいな夕焼けの色を誰かに伝えたいという思いで写真に焼き付ける。つづきは来てからも、学園祭や友人の誕生日など、常にカメラと一緒にいた。やとかり祭りで毎日寝ずに作り上げた御輿が優勝し、みんなで賞状を囲んで撮った記念写真は、いつ見てもその時の喜びを蘇らせる。私が撮るものはきれいな景色や幸せなシーンが多いが、メディアで目にする写真はそのようなものばかりではない。戦争で破壊された街や、失われていく自然など、撮った人の強い思いがこもった写真は、見た人の心に訴える。1993年に撮られた、やせ細った少女をハゲワシが狙っている写真はアフリカの飢饉を世界に伝えた。取材先で劇的な瞬間に出会うことはなかなかない。それでも人の心がこもった動きを見逃さずに、見た人の目を引きつけるような写真を撮っていきたく。



アントレプレナー交流会 「起業とは何か」を伝える

5人の起業家が講演

「ベンチャーを選択肢に」

本学発ベンチャーを支援している「筑波大メンター」主催の「アントレプレナー交流会」が12月14、19の両日、産学リエゾン共同研究センター階セミナー室で開かれた。第1回は20人、第2回は24人の学生らが参加した。

「起業に興味があるが、何をすべきかわからない」という学生は意外と多い。今回の講演では5人のアントレプレナー(起業家)が実際に経験に基づき、「起業とは何か」を現場からの声で学生に伝えた。



事業について語る若林氏(産学リエゾン研究センターで)

第1回が「つくばハウジング」(つくば市干現)代表取締役の小野賢氏と「レスメイキング研究所」(つくば市妻木)専務取締役の温井達也氏の2人。第2回は「DAS」(つくば市春日)の林田祐樹氏、「サングァーフューエルズ」(つくば市赤塚)代表取締役の若林恒平氏、紫峰会職員の北澤徳之氏の3人が講演を行った。専門分野や業種の異なる5人の起業家が、自らの起業人生を語り、その

後、参加者の質問に応じた。現役の僧侶でありながら住職の代表取締役を兼任している小野氏や、本学の体育専門学群の出身で卒業と同時にダンススタジオの経営に着手した林田氏など、5人の経歴はさまざま。主催したメンターの会ネットワークリーダーの角井修さん(産学官連携コーディネーター)は「企業に就職するのと違って、起業には何も保証がない。その代わり何をやるのも自由。起業家の数だけ起業の形がある」と話した。

附属病院再開発

PFI導入で効率化 12階建て新B棟を建設

PFIとは、公共施設などの建設や維持管理、運営を民間の資金やノウハウを活用して行う新しい手法だ。

文科科学省が推進する「第2次国立大学等施設緊急整備5カ年計画」の一つ、「先端医療に対応した大学附属病院の整備」の関連事業として、本学附属病院再開発のPFI実施準備費が平成19年度政府予算案に盛り込まれた。

本事業では病院再開発を効率的に実現するため、PFI(プライベート・ファインダンス・イニシアチブ)を導入し、事業コストの削減や、より質の高い公共サービスの提供を目指す。

日本PFI協会によると、これまで病院の駐車場整備などにPFIを導入した国立大はあったが、病院本体への導入は初めてだという。PFIの導入で、従来より事業費を数パーセント安くできるとしている。

今月末にも実施方針などを公表し、8月にPFI事業者の選定・公表を行い、平成20年度に事業契約を結ぶ予定だ。

全代会と教員が議論 宿舎問題など考える

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

じめ67人の教職員と、57人の学生が参加した。まず全代会の学生が今年度の活動報告を行った。座長の欠席の多さから昨年10月に流会が起こったことが説明されると、高橋副学長は「少し不安な気持ちになるが、全体としては活発な印象を受ける」と話した。

その後、学生宿舎の抱える問題について意見交換を行った。全代会は、事務員の不在や、設備の修繕が適切に行われないといった具体的な事例を示し、事務員のモラルの低下や、共益費の使途が不明瞭であることなどを訴えた。

15社が語る業界の真実

本学学生の就職活動を支援する学生団体JEWELによる企業合同説明会が12月13日、大学会館で行われた。参加企業は、日本テレビ放送網株式会社、SHARP株式会社、株式会社ミクシイなど計15社。説明会は4部構成で、立ち見が出るほ

ど盛況ぶりだった。「人気コンテンツ業界の裏側教えます」と題された第一部の中で、携帯端末でのオークションサイト「モバオク」を運営する株式会社ディー・エヌ・エーの取締役を務める川田尚吾氏が講演を行った。同氏は

た、つくば秀英高校の男子生徒は「手応えはあったもともと、志望校がまだ絞れていないのだけ」と話した。

国立大の附属病院は、高度先端医療や地域中核医療の拠点を担う一方、臨床医学の教育研究の場という特殊な機能を持つ。再開発の具体的な課題と改善計画は、高度先端医療の維持・推進▽先進的医学教育の発展▽

臨床医学の力となるべき研究の推進▽地域との密接な連携体制の構築▽病院経営の更なる健全化の5項目。

再開発では、12階建ての新B棟を増築し、既存棟についても改修を行う。新B棟には高機能手術室や救急医療設備を設ける。既存棟の病棟にある約800床のうち約600床を新B棟に移す。新B棟は平成24年にオープンする見通しだ。

つくばスタンダード 本学の教育方針作成 20年度入学希望者に配付へ

本学の教育目標とその達成方法を簡潔にまとめる「筑波スタンダード」とその基礎となる「学士課程の教育の基本方針」の作成が進められている。教育企画室が原案を作成し、学類・学群連絡会議で審議を行っている。

「筑波スタンダード」は、「社会に対する教育宣言」として位置づけられるもので、46ページの冊子形式で、

本学の教育目標とその達成方法を簡潔にまとめる「筑波スタンダード」とその基礎となる「学士課程の教育の基本方針」の作成が進められている。教育企画室が原案を作成し、学類・学群連絡会議で審議を行っている。



試験1日目、問題用紙を配布される受験者(1H201教室で)

大学入試センター試験 6177人 本学で受験

平成19年度大学入試センター試験が1月20、21の両日茨城県内6会場で行われた。本学でも学内5カ所、147試験室で試験が実施された。全科目の中で最も受験者が多かった英語で、6177人が本学で受験した。

初回の認証率84% 静脈認証システム

施設部棟で10月から行われている静脈認証システムのテスト運用の認証率が11月30日、算出された。登録した施設部職員78人のうちの68人が同日照会した結果、1回目での認証率は押し問渡えを除いて84%、2回目までの認証率は91%、3回目までの認証率は98%だった。

テストのデータは施設部のパソコンで管理され、ログデータなどのダウンロードを行い、メールでメーカーに報告している。再運用する場合、機器の更新を検討している。

施設部では、テストが終了し次第、データを基に全代会と再運用について協議する予定だ。また、他人と間違えて認証される誤認証についても、あらかじめ調査を行う。最終データは2月中旬に算出される。

小島昌治氏(こしま・しょうじ) 東京教育大名誉教授

1月18日に死去、92歳。喪主は長男・建治さん。1936年東京帝国大学理学部物理学科卒。42年同大理学部講師、43年東京文理科大学助教授、44年東京帝国大学理学博士、49年東京教育大・東京文理科大学教授、52年東京教育大理学部教授、86年勲二等瑞宝章受賞。

河村武氏(かわむら・たけし) 本学名誉教授

1月20日午前10時14分、呼吸不全のため死去、77歳。喪主は妻・洋子さん。1953年東京教育大理学部地理学科卒。55年同大理学研究科修士課程修了、58年同博士課程修了、同年同大助手、60年気象庁札幌管区気象台勤務、77年本学教授。

大熊榮氏(おおくま・さかえ) 元本学教授

1月21日午前0時43分に死去、62歳。喪主は妻・光子さん。1975年東京都立大大学院人文科学研究科英文学専攻修了。同年国学院大文学部専任講師、84年明治法科大学教授などを経て00年本学現代語・現代文化学系教授、04年同大学院人文社会学部研究科教授。06年退職、同年関東学院大文学部教授。

山川 岩之助氏(やまがわ・いわのすけ) 本学名誉教授

12月9日に死去、80歳。喪主は妻・ウタ子さん。1951年東京文理科大学教育学科卒。同年秋田大学芸学部助手、53年文部省初等中等教育局事務官、67年同省体育局教科調査官および体育官などを経て78年本学体育科学系教授、87年体育センター長および評議員。01年勲二等瑞宝章受賞。

古賀 達蔵氏(こが・たつぞう) 本学名誉教授

12月16日、急性心不全のため死去、71歳。喪主は妻・民子さん。1968年スタンフォード大学院博士号取得。62年東京大宇宙航空研究所助手、68年スタンフォード大工学部研究員、78年航空宇宙技術研究所機体第一部熱弾性研究室長などを経て81年本学構造工学系教授、94年本学副学長。80年日本機械学会賞受賞。

退職教員 第2の人生へ

今年も39人の教員が退職する。研究に打ち込み、学生と戯れた本学での日々。退職する4人の先生に思い、出と今後の抱負を聞いた。(本紙・鈴木真理、藤井沙織) 社会学類、水田武人(日本語・日本文化学類)

類人猿から人間社会まで



西田正規 教授 (進化史)

「今年も39人の教員が退職する。研究に打ち込み、学生と戯れた本学での日々。退職する4人の先生に思い、出と今後の抱負を聞いた。」

大学では農学部、大学院は理学部に進み、医学部や理学部の教員を経て、現在は人文学類で授業を教える。

西田教授が本学に来たのは82年。その頃は食料資源や植生などに着目し、縄文時代の研究をしてきた。縄文時代という、多くの人は縄文土器をイメージする。しかし西田教授は「定住」を重要な要素と捉えた。1万年ほど前に、あちこちで人類史上初の定住社会が成立し、日本ではそれが縄文時代だったため。縄文時代は日本史の延長上で見られてきた。けれど、日本を超えて人類史的に定住の意味を考えると、類人猿の社会の話から始める。遺跡の話が聞けると思っただけで、学生は戸惑うが、やがてオランウータンやゴリラ、チンパンジーの生き方や社会の仕組みが、人間の社会にまでつながる。

体育を光り輝かせたい



高橋健夫 副学長 (体育授業研究)

「競技や学問研究などすべての分野でスポーツ界のリーダーシップをとれる強い体育専門学群を作りたい」。本学随一の熱血先生・高橋健夫副学長(学

東京教育大の大学院で体育哲学を学んだ。その後、大阪大、奈良教育大で教育現場の授業改善に取り組み、1987年に本学に赴任。「この大学を通して体育をもっと光輝くものになるべきだ」と20年間にわたり、手腕をふるった。

「この15年間は、いい授業には法則があると仮定を立て、授業を分析した。体育授業の分析から、いい授業では学習成果に向かって学習の勢いが明るいと、学習の雰囲気があることが分かった。「教育は愛だ。自身の授業を良くしようと、大教室の授業で学生をしゃべらせない、寝



湯澤質幸 教授 (漢文学)

「研究は心を満たしてくる。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。」

研究が誘った教員の道



鳥山由子 教授 (視覚障害者教育)

視覚に障害のある子どもが、社会で生きていく力を身につけることができる。視覚障害教育の楽しさ

「研究は心を満たしてくる。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。」

盲学校での経験生かす

「研究は心を満たしてくる。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。」

「研究は心を満たしてくる。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。」

最終講義

- 【人文社会科学部】 システム研究科棟BS 502・503
- 【西田正規教授(人類史)】 2月15日 午後4時、1D204
- 【望月昭彦教授(英語教育)】 2月17日午後3時15分、バイオシステム研究科棟BS502
- 【入間総合科学研究科】 2月21日午後4時45分、医学専門学群棟臨床講義室A
- 【鳥山由子教授(視覚障害者教育)】 2月22日午後3時15分、大学会館特別会議室
- 【小島弘道教授(ベスタロッチ・教育史)】 3月13日午後1時、大学会館国際会議場
- 【目崎登教授(女性スポーツ学)】 3月7日午後4時45分、総合研究棟D1階公開講義室
- 【諏訪伸夫教授(現代の体育)】 2月23日5時限、大学会館会議室
- 【中山凱夫教授(医学教育改革)】 3月9日午後3時15分、医学専門学群棟臨床講義室A
- 【長澤俊郎教授(不易流行(血液学)の原点と未来)】 3月1日午後3時15分、医学専門学群棟臨床講義室A
- 【松村正利教授(生物化学工学)】 3月9日午後4時、バイオ

インカ講演会 ペルーの風 本学に

インカのロマンを語る 大使館からガリード氏

ペルー大使館と本学の「比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト」の共催で、インカ講演会「カパック・ニヤン 偉大なインカ道—アンデスの統合の礎」が1月12日午後3時15分から、総合交流会館で開



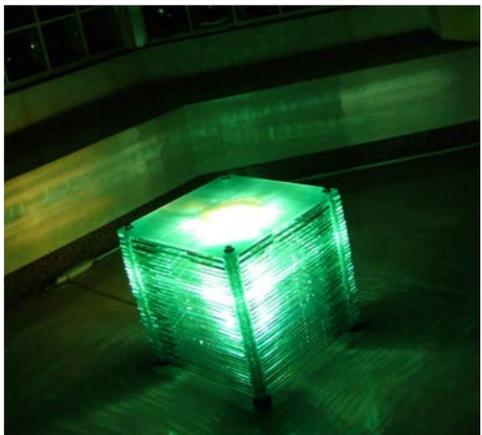
レセプションで歓談する参加者（総合交流会館で）

催された。カパック・ニヤンとはインカ時代に造られたアンデスの主要道路のことだ。現在ペルーのほか南米の6カ国が、カパック・ニヤンのユネスコ世界遺産への登録を計画し、準備を進めてい

る。前半はアンドレス・ガリード氏（同大使館文化経済参事官）が、インカ道やインカ文明について講演を行った。ガリード氏は「遺跡の発掘や、日本からの移民の受け入れなど、ペルーと日本は昔から関わりが深い」と語った。

光の芸術 小学校を灯す

光の芸術家といわれる逢坂卓郎教授（芸術）と芸術専門学群でデザインと芸術を学ぶ3、4年生25人による光の展覧会「re-light展」が25日の放課後、再び灯し出す。25の光たちが



作品の一つ。何重にも重ねられたガラスが光る

が昨年12月17～24日まで開催された。会場は守谷市の旧大井沢小学校で、今は文化施設となっている「もりや学舎の里」。周囲が暗くなり始める午後4時から午後9時まで

19日までインカ写真展が開かれ、遺跡や人々の暮らしを写した58点の写真が展示された。また、同会場では1月9



英語への興味を刺激した

ビートルズと2人の恩師

私は福岡県の小さな炭鉱町で生まれました。その炭鉱町では今のように英語を話す外国人を見かけるという事などはま

語を学び始めました。その時の英語の先生は大学を出たばかりの女性の先生でした。パーマーのダイレクト・メソッドを大

英語への興味を刺激した。そして、「ビートルズ」がやってきました。中学から高校時代はプレスリィ、ビートルズ、ロリーングストロンスなど、ロックンロールが盛んでした。友だちがビートルズの大ファンで、放課後は彼の家でたぐさんのビートルズのレコードを聞きまわりました。今の人は「annaがwant to be a star」という口語表現であることがよく知られているでしょう



江藤秀一

一家の没落でした。この会を通して、英語を読む楽しさを教わったように思います。この先生は英語を読むことを自ら楽しんでおられ、英語そのものに大変な興味を持

ておられました。気がつくくと、私も英文科を志望しておりました。教師との出会いが良かれ悪しかれ人の一生を左右することがあります。果たして私はどういう影響を与えてきたのだろうか、これを書きながら自問しているところです。えとう・ひでいち

1950年生まれ。人文社会科学部現代文化・公共政策専攻教授。明治学院大学大学院修士課程修了。武蔵野美術大学を経て現職。



教師の本音ちらり 吾輩は猫である

夏目漱石著

ばならない先生が、粗雑で未熟な学生や利己的な世間の人たちに翻弄されながら、かろうじて確保できた心の楽園のようなものでした。だが禅に熱中するあまり気遣いになつてしまった天道公平のよう



武井 隆道

この苦沙彌先生、学生に対してはいたって冷淡なようです。退校処分を受けそうになった学生が相談に来る場面では、この田舎出身の少年が「お前、退校になるでせうか」と聞くのに対し、先生は「さうさな」を繰り返して答えていた。先生は「さうさな」を繰り返して答えていた。先生は「さうさな」を繰り返して答えていた。

第3回 DCC 展

芸術の院生が展示 過去最多の来場者 本学の人間総合科学研究科芸術学専攻のうち、洋画・日本画・書の博士課程の学生ら12人による第3回DCC展が12月26～28日と

映像メディア技術を紹介

第一線で活躍する教員と最新技術の動向について語り合い、交流を深める機会である「第2回 iitcafe」が1月26日午後6時15分から、総合交流会館で開催された。第1回を上回る67人が参加した。今回の講演者は、自由視点映像メディアやシースルービジョンなどの複合現実感システムの開発者として

苦難を乗り越え夢へ旅立つ

本学屈指のアスリートたちが、今年もつくばを湧かせた。そして今、新たな舞台へと旅立ちの時を迎えている。苦難を乗り越え成功を手にした6人に、4年間の思いと、新天地への決意を聞いた。



成迫健児 (陸上)

無冠に終わった高校時代に 妥協許さず孤高の存在に

本学陸上競技部のエース・成迫健児(体専4年)も、実力を出し切れず五輪出場を逃した。あまり悔しさに、アテネ五輪をテレビで観戦することも出来なかったという。一方、大学2年からは全日本インカレを3連覇。2年時の世界陸上ヘルシンキ大会にも出場し、初の世界大会ながら、準決勝に進出した。3年の時にトルコのイズミルで行われた大学生の世界大会・ユニバーシアードは、優勝して最も嬉しかった大会だ。緊張のために決勝進出を逃したヘルシンキでの経験が生きたという。「今では世界の舞台でも全く動じない」と話す。「根本的に負けず嫌いだ。挑戦が始まる。(関田航二)成迫は自身の性格をこう分

持って望んだが、雨の影響もあり、実力を出し切れず五輪出場を逃した。あまり悔しさに、アテネ五輪をテレビで観戦することも出来なかったという。一方、大学2年からは全日本インカレを3連覇。2年時の世界陸上ヘルシンキ大会にも出場し、初の世界大会ながら、準決勝に進出した。3年の時にトルコのイズミルで行われた大学生の世界大会・ユニバーシアードは、優勝して最も嬉しかった大会だ。緊張のために決勝進出を逃したヘルシンキでの経験が生きたという。「今では世界の舞台でも全く動じない」と話す。「根本的に負けず嫌いだ。挑戦が始まる。(関田航二)成迫は自身の性格をこう分

「大学女子バスケのナンバープレイヤー」と丙山トシユトだ。1試合に5治樹監督(体育・助教授)が評価する本学の名センターガード、櫻田佳恵(体専4年)が今年、卒業する。「放った後、ボールが弧を

悔しさ残る全日本インカレ 実業団トヨタで雪辱を誓う



櫻田佳恵 (バスケット)

重要となり、櫻田は外からゴールを攻める役割を担った。3ポイントシュートを多く打つようになり、シュート力に磨きがかかった。4年生になると、近藤啓子(同)と2人で後輩を引っ張るようになった。昨年11月のインカレでは、準決勝で伏兵・桜花学園に敗れ、悔いが残る結果に終わった。それでも櫻田は「チームメイトにも指導者にも恵まれ、本当に充実した4年間だった」と振り返る。「指導者になりたい」と

残すところ2年。中学2年の時には全国中学校体育大会で準優勝。高校3年にインターハイ、国体、ウインターカップで3冠を達成。圧倒的な成績を引っ提げて本学に入学した。本学では2年生の時からスタメン出場した。他大学と比べ高くて速い本学は、ゴール下の勝負で不利だ。スピードとシュート力が重要となり、櫻田は外からゴールを攻める役割を担った。3ポイントシュートを多く打つようになり、シュート力に磨きがかかった。4年生になると、近藤啓子(同)と2人で後輩を引っ張るようになった。昨年11月のインカレでは、準決勝で伏兵・桜花学園に敗れ、悔いが残る結果に終わった。それでも櫻田は「チームメイトにも指導者にも恵まれ、本当に充実した4年間だった」と振り返る。「指導者になりたい」と



岡田隆 (サッカー)

戦う気持ちでチームに貢献 かつての仲間と同じ舞台に

蹴球部の岡田隆(体専4年)が今年春、本学を卒業し、活躍の場をJ1のジュビロ磐田に移す。岡田は中学の時に、全国から参加者が集まるナショナルトレセンですでに有力選手として注目されていた。サッカーの名門校・藤枝東高校から、卒業後のフクロアサギ(体専)に入部し、その1カ月後のリーグ戦で1年生として早いデビューを飾った。スタミナや状況判断に優れる頭脳的なプレーが岡田の持ち味だ。体が大きくなると戦うための武器であり、本人も自信を持っている。1年の秋からは守備的MFに転向し、その年のインカレで優勝。2年生の時には浅井武監督(体育・助教授)は「勤勉で、体を張ってチームのためにハードワークを惜しまない選手。彼のプレーはどのチームでも活躍できる天才的選手。ジュビロには高校時代チームメイトだった成岡翔や大井健太郎がいる。岡田は「高校を卒業し、2人は練習中の土気を高めるために、自分も進歩したい」と思い、4年生で話した。それまで練習の雰囲気を変えてきたので「楽しみ」と春からの新しい舞台に目を輝かせた。まずはリーグでの公式戦出場を目指す。(篠崎真希)国際総合学類



樋口真央 (ハンド)

「厳しさ」を追求した1年間 文句一つ言わぬ仲間へ感謝

昨年、女子ハンドボールの時にインターハイで優勝した。より高いレベルを求めて本学へ入学し、1年の時から試合に出場した。今年「後悔しないよう」と、優勝するためにできることは全てやった。3年の時、インカレ4連覇を逃し、無冠に終わった。それが部員に伝わり、練習の雰囲気が変わった。1年の秋からは守備的MFに転向し、その年のインカレで優勝。2年生の時には浅井武監督(体育・助教授)は「勤勉で、体を張ってチームのためにハードワークを惜しまない選手。彼のプレーはどのチームでも活躍できる天才的選手。ジュビロには高校時代チームメイトだった成岡翔や大井健太郎がいる。岡田は「高校を卒業し、2人は練習中の土気を高めるために、自分も進歩したい」と思い、4年生で話した。それまで練習の雰囲気を変えてきたので「楽しみ」と春からの新しい舞台に目を輝かせた。まずはリーグでの公式戦出場を目指す。(篠崎真希)国際総合学類

仲間も変わっていった。インカレ決勝、残り5分で3点差を追いかける場面に、樋口の姿はなかった。負傷退場した樋口はコートを退き、ベンチから声援を送った。劇的な逆転で、試合は終了。樋口は「厳しい練習に文句一つ言わずついてきてくれた後輩たちに、感謝の気持ちで胸がいっぱいになった」と話した。水上二監督(体育・教授)は樋口を「球技センスがあり、頭が光る選手」と評価する。一般的に体格が大きい方が有利とされるハンドボールにおいて、身長161センチの樋口は大柄とは言えない。その分「賢いプレーで勝負してきた。3年の12月には学生としてただ一人、世界選手権に出場した。卒業後は実業団ソニーセミコンダクタ九州で日本一を目指す。「今は自分の実力を着実に伸ばすことが大事。何でも出来るマルチな選手になりたい」

福岡国際女子柔道選手権

福見、2年ぶり2度目

延長、ジヨシユネを破る

「ポスト谷」へ再チャレンジ

柔道



世界20カ国から100人以上が参加する第24回福岡国際女子柔道選手権大会が12月16、17日(17日)に福岡国際センター(福岡市博多区)で開催された。今年最後の開催となった同大会、本学からは2日目の48キロ級に福見友子(体育専

3年)が出場。アテネ五輪銀メダリストのジヨシユネ(フランス)を破り、同大会で2年ぶり2度目の優勝を果たした。福見は準決勝までの3試合を全て一本勝ちで制して決勝へ進出。ジヨシユネと対戦した。岡田弘隆監督(体育・助教授)が「動きのキレは、今年一番だった」と

いう福見。内股をかけたようとするジヨシユネに対しては、袖の入り込みを避けようと攻めるが、共に決め手を欠いたまま、5分。延長戦へとつれ込んだ。延長戦では、先にポイントを取った方が勝者となる。残り1分3秒、それぞれ前に攻めつけてきたジヨシユネが体勢を低く



「負けられない大会」の、大きな一勝だった(提供=共同通信社、福岡国際センターで)

して足を取ろうと飛び込んだところを、福見が切り返して倒し、押さえ込んだ。「ヤー」と声を上げた福見。「自然に体が動いた」という。優勝を意味する「有効」が表示されたが、審判団が審議に入った。「取り消されたら次はどう攻めようかなどと、待っている間を考えていた」と福見。審議が終わり、福見の優勢が決まった。

試合後、福見は「福岡国際は昨年優勝したことから、好きな大会、勝てた良かったが、納得はしていない。しかし一歩成長出来たと思う。冬季欧州大会や4月の全日本選抜では投げて勝ちたい」と語った。



秋本 啓之

秋本惜しくも3位

アジア大会柔道

第15回アジア大会柔道競技が12月2-5日にかけてドーハで開催された。本学からは4日、66キロ級に秋本啓之(体育専3年)が出場。日本代表として初めての個人戦出場となった。3回戦で惜しくも敗れたが、敗者復活戦をオール本勝りで制し、3位入賞。銅メダルを獲得した。

秋本は「大会、減量が苦しかった。ツァガンバートル(モンゴル)と対戦した3回戦で、東海大に7連続得点を許し、1-8に。その後も東海大の2年生エリス清水の強烈なスパイクなどで十分腕を振れず、力を発揮できなかった。21-21の同点となったところで東海大の清水に3連続得点され、22-25で試合終了となった。

福見にとって今大会は、負けられない大会だった。02年に全日本選抜で谷見子(旧姓田村・トヨタ)を破って以来、「ポスト谷」候補の一角を占めていたが、最近山岸絵美(三井住友海上)や中村美里(渋谷教

不足の部分が出てしまった。ディフェンスからの切り返しを中心に攻撃力をより強化したい」と話した。女子は4回戦、福岡大の予想以上の好サーブに押され、1-3で敗退した。中西康己監督(体育・講師)は「決勝や準決勝に向けて準備をしていたが、足元をすくわれてしまった。新しいチームでは、どのようなゲーム展開になっても立て直しが出来るようにしたい」と語った。個人賞は次の通り。【男子】敢闘選手賞Ⅲ三上圭治郎(体育専4年)▽サーブ賞Ⅲ三上圭治郎▽リベロ賞Ⅱ永野健(同3年)

インカレ

男子 東海大に敗れ、三連覇逃す

女子 無念ベスト16で敗退

バレー



東海大戦でスパイクを打った鈴木(東京体育館で)

学生日本一を決める全日本バレーボール大学選手権大会が昨年12月4-10日、東京体育館(東京・渋谷区)をメイン会場に行われた。三連覇が懸かった男子は1-3で宿敵東海大に敗れ、準優勝に終わった。昨年準優勝だった女子は福岡大に1-3で敗れ、ベスト16に終わった。

チーム作りに苦戦し、今年度は東海大に勝ち星をあげていなかった。第1セット、本学ペースで試合が始まるが、競り合いを制した東海大に23-25でセットを先取される。第2セットでは、キャプテン三上圭治郎(体育専4年)が何度かスパイクを決めた。17-17になったところで、大野史成(同)の好サーブも決まり、本学は4連続得点。25-22でセットを奪った。試合の分かれ目となった第3セット。三上や志賀崇(同)のスパイクが東海大のキャプテン・金子にプロ

試合後、都沢凡夫監督(体育・教授)は「2年生エリス清水の強烈なスパイクなどで十分腕を振れず、力を発揮できなかった。21-21の同点となったところで東海大の清水に3連続得点され、22-25で試合終了となった。

試合後、都沢凡夫監督(体育・教授)は「2年生エリス清水の強烈なスパイクなどで十分腕を振れず、力を発揮できなかった。21-21の同点となったところで東海大の清水に3連続得点され、22-25で試合終了となった。



坪井俊樹

昨秋、首都大学野球リーグで硬式野球部は10年ぶりの優勝に輝いた。その立役者が、2年生エリス・坪井俊樹(体育専)だ。しなやかなフォームの本格派左腕で、身長184センチの長身から投げ込まれる速球は切れ味十分。リーグ戦終盤は疲れがたまり、決して本調子ではなかったが、それでも自慢のカーフ、ストリート、チェンジアップなどを組み合わせて三振の山を築いていた。東海大との優勝決定戦では13三振を奪った。

中1日での先発では「めちゃくちゃ疲れていた。でも自分が倒れたら



と投げたが、この時から左投げに転向した。兵庫県立社高校の出身。高校3年の春、選抜高校野球大会で甲子園のマウンドに立った。当時の

キレの速球、粘りのピッチング

「めっちゃくちゃ疲れていた。でも自分が倒れたら」

皇后杯 日立に敗れ、ベスト16

インカレの雪辱ならず

バスケットの日本一を競う第73回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会が1月2-8日にかけて、国立代々木競技場(東京・渋谷区)の第一体育館で開催された。本学は2回戦で日立ハイテクノロジーズに敗れ、昨年同様ベスト16に終わった。

宿舎改修
ワークショップ

居室料金巡り 意見百出

院生ら「追越南は据え置きを」

現在進行中の宿舎リニューアルについて、施設部やリニューアル計画を進めている学生宿舎の改善計画ワークショップ「座長の小場瀬令二教授(社)らと、居住者や居住希望者が意見を交換する「学生宿舎改善計画ワークショップ」が12月13日、3A201学生控室で開かれた。当日は教職員約20人と、学生約10人が参加した。質疑応答では、主として奇

現在進行中の宿舎リニューアルについて、施設部やリニューアル計画を進めている学生宿舎の改善計画ワークショップ「座長の小場瀬令二教授(社)らと、居住者や居住希望者が意見を交換する「学生宿舎改善計画ワークショップ」が12月13日、3A201学生控室で開かれた。当日は教職員約20人と、学生約10人が参加した。質疑応答では、主として奇

宿料について意見が交わされた。ワークショップでは、施設部長と小場瀬教授から改善計画の概要が説明された。冒頭、小場瀬教授は「開学した頃とは時代も変わって、安かろう悪かろうではなく、学生のニーズもきちんと取り入れたサービスを提供したい」と語った。

現在の改善計画では、居室を統合することで面積を広げ、ユニットバスやミニキッチンなどを設置する予定であることが説明された。また、昨年6月に学生2744人を対象に行われたアンケート調査の結果が紹介され、料金が値上げされる計画となっている。

現在4月からの追越南宿舎への入居が決まっている院生からは、「こんな居室料では入れない。これは決定事項なのか(人)社・女性」「入居希望者は安価な料金が目当て。値上がりは

キッチンなどを設置する予定であることが説明された。また、昨年6月に学生2744人を対象に行われたアンケート調査の結果が紹介され、料金が値上げされる計画となっている。

現在4月からの追越南宿舎への入居が決まっている院生からは、「こんな居室料では入れない。これは決定事項なのか(人)社・女性」「入居希望者は安価な料金が目当て。値上がりは

学生の可能性・特色を探る

松尾剛アウンサー語る



青春時代を語る松尾氏(大塚キャンパス)

本学のOB・OGと現役の学生が交流する第11回茗溪・筑波グランドフェスティバル(MTGF)が1月27日、本学東京大塚キャンパスと茗溪会館(東京・文京区)で開催され、学生116人、社会人58人が参加した。

午後1時から大塚キャンパスのG501教室でシンポジウム「キャリアデザイン——『筑波力』を活かす——」が開かれた。

第一部ではNHKアウンサーの松尾剛氏(92年農林学類卒)による講演が行われた。「志望理由には書けない!私がNHKを目指したワケ」と題して、在学時代の思い出や、仕事のやりがいや、軽快に語った。

担当した番組への視聴者からの反響を通じて、社会や人の役に立つことの感動を説いた。

第二部では、学生、社会人、大学教員という3つの視点からキャリアを考えるパネルディスカッションが行われた。吉武博通副学長(総務・企画担当)を司会に、パネリストには永井裕久教授(国経)、経営大学院研究員の林恭子氏(本学大学院経営学修了)、株式会社リクルート人事部の笹原夏子氏(01年国総卒)、MTGF学生委員の市橋創さん(人間4年)を迎えた。「価値基準の構築とその支援」をテーマに、4者それぞれ



「パレンタイム」は、学生生活の様々な場面を描いた漫画。このページでは、学生たちが授業や課外活動で奮闘する姿が描かれている。

宇宙工学研究会

ロケット発射 高度800メートル

宇宙工学研究会は11月30日、自主制作ロケット「XMR-2E」の打ち上げに成功した。虹の広場で打ち上げられたXMR-2Eは時速900キロメートルを記録し、高度700メートルまで上昇した。打ち上げ後、600メートル先の大学周辺保護緑地に、パラシュートを広げ着地した。

XMR-2Eは同研究会が半年をかけて制作した。全長0.9メートル、重量は1.1キロメートル。機体は高圧・高温になつて

安全性を確認するため、発射を伴わない燃焼実験や試射を数ヶ浦で7回実施し、安全性を確認してから学内の修十棟の屋上でパラシュートの作動実験も行った。

宇宙工学研究会は1976年に設立された。これまでにも全長15センチメートル程度のペンシルロケットを制作し、新しい燃焼機関の制作に取り組みなどしてきた。顧問教員の野田英行講師(電物)は、今回の打ち上げについて「安定した弾道でこれだけ飛んだのは快挙と言っている。他大学でもそう例はないのでは」と語った。

今後、同研究会はより大型のロケット制作を目指す。宇宙航空研究開発機構(JAXA)産学官連携部の協力で、つくば市内のJAXA敷地内での試射を行う予定だ。

同研究会推進システム班長の工藤佑介さん(自然3年)は、「射程2、3キロ程度



発射準備の様子(提供=宇宙工学研究会)

度(ロケットなら、金属部品を利用して4000円前後で制作できる自信がある。今後、秋田県能代市で

強盗多発 乗り物盗も増加

1月からつくば市内で暴行・強盗事件が多発し、本学女子学生が多数被害に遭っている。

被害にあった学生はいずれも夜8時以降に大学近辺を一人で歩いているところを見知らぬ男性に襲われ、金品などを奪われている。事件は1月13日以降には、春日4丁目本学が立続けに4、5人被害に遭ったという。

また、昨年つくば中央

警察署管内で起こった本学学生の窃盗被害の認知件数が昨年よりも2割増加し、500件を超えていることが、同署の調べで分かった。

窃盗被害のうち約8割が、自転車やオートバイなどの乗り物盗だ。本学が被害者になるだけではない。加害者になるケースも決して少なくない。大学としての抜本的な対策が強く望まれる。



「使命」はアイリスの花言葉だ。学生アクトベイト団体アイリスの使命は、学生にもっと成長のチャンスを提供することだ。ついでに、学生たちの手によって「成長できる」環境を提供して、いこうと模索している。

昨年9月11日に発足した大学公認の新しい団体だ。東京では講演会が日常的に開催され、異なった大学の学生同士との交流も盛んだ。代表の上川琴美さん(人間3年)は「東京でのアルバイト経験を

通じて、人との交流という点で筑波のギャップを感じた」とアイリスの立ち上げに至った理由を語った。

「今まで筑波大学になかった、全く新しいカテゴリーの学生団体」と広報戦略チーフの大瀬良亮さん(国総4年)はアイリスについて説明する。「筑波大生を元気にする」の活動理念の下、社長による講演を開催したり、サークル活動の活性化を図ることで、大学をもっと元気にしていきたい」と

折口氏は、折口氏(左)と語るアイリスのメンバー人への成長を目指している。主な活動内容は、イベントの企画運営とホームページやメールマガジンでの情報提供だ。アイリスでは、学類・学年を問わず9人のメン

「使命」は筑波大学活性化



12月19日、活動第一弾として「今までの、なりたい自分になれませんか」と題された講演会が大学会館で開催され、200人以上の学生を集めた。講演者は、人材派(本紙・水田武人)日本語・日本文化学類)

2月7日には、ネイリスト出張サービスや女性起業家育成サービスなど幅広い事業を手がける、トレンダース株式会社の人気女性社長・経沢香保子氏による第3弾のイベントが控えている。筑波大生を元気にする伝道師アイリスから今後も目が離せない。

彫塑展

「彫塑教育の今とこれから」

平成18年度彫塑展 3月2-7日(木)〜文化シャ...

して、本学附属小・中・高...

春季図書館

土日・祝日は閉館

春休みに伴い、附属図書...

芸術専門学群制作展

つくば美術館で開催

芸術専門学群制作展/芸術...

開館時間が午前9時〜午...

うちわ話

☆引退記者からひとこと☆

Who's Who?

母親で院生 子育てを支援

平塚 知真子

さん (教育研究科2年)



育児の経験、行政支援への疑問なく、話は尽きない...

大学院で「人生のおさらい」 NPOを経てベンチャー起業

2年前、本学の大学院...

次号は 4月9日(月) 発行予定です

大学会館書籍部ベストセラー

Table with 3 columns: Rank, Title, Author/Publisher

催事

容は、就職活動や大学院...

セミナー

◆自分らしさ発見セミナー...

講演会

◆エストニア国立タリン...

演奏会

◆劇団竹蜻蛉第1500回...

劇団公演

公演「てくらへいめん」...

1月の1位は、山崎豊子の「華麗なる一族」...

筑波野生動物図鑑



筑波実験植物園にて。ツグミ科の鳥で体長25センチ...